

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：有限会社 エフワイエル	所在地：390-0867 長野県松本市蟻ヶ崎台 24-3
評価実施期間： 令和 4年 7月 8日から令和 4年 12月 16日 *契約日から評価結果報告会日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050542 061163	

2 福祉サービス事業者情報（令和 4年 10月現在）

事業所名：御代田町立 雪窓保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：管理者 小園 拓志 園長 秋葉 ルミ子	定員（利用者数）：210名（190名）
設置主体：御代田町 経営主体：御代田町	開設年月日：昭和 49年 4月 1日
所在地：〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 4107-117	
電話番号：0267-32-4166	FAX 番号：0267-32-4166
電子メールアドレス：miyota@town.miyota.nagano.jp	
ホームページアドレス：https://www.town.miyota.nagano.jp	
職員数	常勤職員：21名 非常勤職員：10名
職員内訳等	保育士：25名 栄養士：1名 調理員：3名 常勤職員の平均年齢：42歳 平均在職年数：10年
施設・設備の概要等	乳児室：2室 遊戯室：1室 便所：5室 保育室：8室 調理室：1室 事務室：1室 園庭：5.867㎡ 屋外遊具：すべり台、ブランコ、雲梯、スプリング遊具、鉄棒、砂場 太鼓はしご

3 理念・基本方針

<p>御代田町保育理念 「一人ひとりの子どもを大切に、保護者や地域と共に子どもの育ちを支援する保育」</p> <p>保育目標 1 健康な子ども 2 思いやりのある子ども 3 意欲的に遊べる子ども</p> <p>基本方針 1 見通しをもって生活できる子ども 2 自分も他の人も大切にできる子ども 3 好奇心をもって遊べる子ども</p>
--

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

豊かな自然に恵まれた雪窓保育園では、環境設定・異年齢保育・チーム保育に重点を置き、子どもの主体性を大切にした保育を行い、おたよりやドキュメンテーション等による保護者とのコミュニケーションを図っています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期） 2回（平成29年11月）

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇ 特に良いと思う点

○ 子ども主体の保育

浅間山を望む自然豊かな御代田町はアクセス環境も良く近年移住者が増加し、長野県人口増1位として知られ、子どもの数も増えつつ先の明るい町となっている。

町立保育園は2園あり、やまゆり保育園と雪窓保育園である。

園へ入ると園庭と小高い雑木林の丘があり、その環境は子どもの育ちには素晴らしく、子ども達はそこを探検山と名付け、四季の移ろいを楽しむことができる。

職員によるゾーンの整備、準備で、ごっこ遊びや探検、創作遊びができるようになっている。

虫や昆虫に触れ、命の尊さや大切さを感じ、桜や草花の咲く風景、木の葉や木の実、枝を使っての遊びや創作、土の感触や土遊びを通して豊かな感性と興味、創造性、協同性など自然のなかで様々なことを学び育っている。

探検山で遊ぶ子ども達の生き生きとした姿、思い切り楽しんでいる姿をみると、この山の果たす役割は無限と感じる。

園の特長的な取り組みとしてらんらんランチの日がある。

以上児クラスの回り順でクラスの子も達が話し合って献立を決め、献立表にも載せないのが当日のサプライズとなっている。

それは子ども達の食への関心とワクワク感の機会となっている。

また、幼児期の食体験がそれ以降の生長に大きく影響することと捉え、食育に力を入れている。

献立内容の充実、行事・伝統食での食文化への関心、更に子ども達が育てた野菜の成長と収穫、それを食することで命の有難さを学んでいる。

毎月の栄養士と調理員による会議の内容は濃く、改善等で給食の質を高め、今回のアンケートでも95.2%という高い評価を得ていることで、子ども、保護者の満足と楽しみな給食となっていることを知ることできる。

日々子どもに関わっている保育士に比べて、自分の子どもだけを見ている保護者にとっては驚くほど発達の早い成長に気づかないものである。

そのため、保育士にとって当たり前のことでも、保護者は知らないことも多いと意識して、A3用紙にカラー写真を多くしたドキュメンテーションの活用を進め、子どもを見る、導く、伝える、子どもを理解する事の繰り返しで、保護者等が子どもを見る目を豊かにし、また、保育士の専門性も高めている。

そして、日々の日案の振り返りで子どもの姿を文書化することは、この記憶を風化させない取り組みの繰り返しとなり、子どもの心理状態の理解力も高まり、また、主任保育士が担当者の評価についてコメントを載せていることは、保育士を育てる効果あるプロセスと理解する。

◇ 特に改善する必要があると思う点

○ 発信情報の充実

保育園のしおりには御代田町保育理念、保育目標、入園・進級にあたっての祝辞、各種の行事、デイリープログラム、保育時間、給食、災害共済、災害・緊急連絡網、園からのお願い、家庭で用意するものや服装、感染症等に対する登園の際のきまりなどが載っている。

それは、一般の契約における重要事項といえるものだが、その内容が乏しいと感じる。

別添の事業評価票（共通項目、内容評価項目）及び別添3の保護者アンケートから、利用の際の事前説明やしおりへの掲載内容、広報紙の活用など、積極的な情報の発信が必要と思われる。

アンケートでは、「外部からの侵入への安全対策」についての保護者の肯定的な回答は30%を割っている。

それは、どのような訓練を実施しているのか、保護者が知らないことが理由であろう。

参観日、運動会などと同様に、見学を自由にしたたり、その内容をドキュメンテーションにして周知するなど効果があると思われる。

また、多様な職業の保護者であり、参考になるご意見も上がってくることもあるだろう。

万全の対策を施しているのに、理解されないことは残念である。

また、保育は園だけで完結するものではなく、保護者との連携が不可欠である。

3歳未満児や障がいのある子どもについての個別支援計画については、その計画についての同意を頂き、家庭と連携して同一の保育を行い、共に育てるという意識を高めること。

個人情報の保護については具体的な利用目的をリスト化、明示して、それぞれの同意を得ること。

保護者等は勤労者であることを理解して、見学や意見・相談の受付についての対応時間の明示。

園での受付窓口、責任者だけでなく、第三者委員の氏名、連絡先及び担当課の連絡先の明示及びその流れなど、保護者等が訴え先を選択できるようにすること。そして、第三者委員の活躍の場を増やして来園を促し、保護者等と顔の見える関係作りの工夫。

非常災害時等の際の第二避難所の明示。

保護者等が見通しを持って卒園が迎えられるように、園の全体的な計画、年齢ごとの年間計画、御代田町の子育て5か条、子ども7か条の掲載なども期待したい。

なお、配置基準と実際の園の職員配置及び保護者会の存在と会費については、重要事項といえるとう理解したい。

○ 保育士のあり方

保育士は日案・週案・月案・期案の連続性に注力し、振り返りを通して個々の子どもの育ちがはっきりと分かるようにすることで、就学の際の要録作成に威力を発揮している。

各案の振り返り・評価は次案作成に向けての基であり、保育の言語化が各保育士に教育されているものと思われる。

子どもの園での生活や遊び、それらのなかで育まれた子どもの資質・能力を次に引き継ぐことは進級や小学校での生活を円満にスタートするための一助と意識した専門集団と理解する。

しかし、専門性にばかり注力すると、保育所特性における大事なことを忘れがちになる。

保護者に向けた園のしおりには、「キーホルダーをカバンにつける場合は、お子さんの目印になるような大ききで、一つとしてください」とある。

また、「服装は活動しやすく～」、「靴は履きやすく～夏のサンダルは止めましょう」、「髪の毛の長い子は、邪魔にならないよう～」ともある。

「乳児は肌を離すな、幼児は肌を離せ手を離すな、少年は手を離せ目を離すな」を基本と意識し、保育士に向けても、業務内容に合った服務規程の検討、作成を期待したい。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

評価細目（別添1、2）に対する判断基準は以下の通りとなっています。

a：よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態

b：aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態

c：b以上の取組みとなることを期待する状態

つまり、「ある、ない」や「やっている、やっていない」という外的基準ではなく、やっている事の内容を評価員・評価機関が判断してa・b・cを決定しています。

そのため、当評価機関としてはaの場合は取り組み状況、b・cの場合は取り組み状況と検討課題を記載しています。

そして、各評価細目や利用者調査の内容を長期的、多面的、根本的に考え、事業所の全体像を把握して総評を決定・作成しています。

8 利用者調査の結果

アンケート方式（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

平成29年度に第三者評価を行ってから、職員も変わるなかで、前回ご指摘いただいた内容を把握している職員が少なくなったの受審でした。

今回ご指摘いただいた「情報発信」、「安全対策」、「保護者との連携」については、検討し、改善に取り組んでまいりたいと考えています。

保育士の専門性を活かしながら、保護者の目を豊かにし、子どもが生き生きと過ごせるよう、今後も日々努力してまいります。